

LOA環境改善添加剤

そうかい

## 「温故知新」基礎から



【1000ml】

【100ml】

選択し尽くして使っている建材なのに・・・、自然素材のものしか使っていないのに・・・、なぜアレルギー反応が起きるの？折角、自慢のマイホームや保育園、幼稚園、小学校を建てたのに入れない家族や子どもたちがいる。というニュースや特番を観たり、話を耳にすることが頻繁にあります。

昔と同じ自然と思っている自然も、あの頃の自然とは変わってしまいました。本来の自然は毒を消し浄化するくらいの力は持っていました。ところが、現在起きている問題は、戦後の経済優先の中で利便性や効率・利益追求の結果、環境破壊の連続となり、かけがえのない地球自然を傷めつけたことによる当然の帰結ではないでしょうか。

建材の中でも、コンクリートや合板、クロスなど壁材からの化学物質等の影響を完全に排除し、無くすことは不可能に近いと思います。

しかしながら、現代の科学技術が為し得なかったこのような問題に対して、LOAは存在する物質を否定したり、排除することなく、貴い環境エネルギーによって、あらゆる物質を自然本来の力(解毒・中和・活性)に戻し、人と自然が調和し安心して暮らせる住まい創りができるようになりました。

そのLOA商品の一つが建築現場に欠かせない「そうかい」です。

住む(棲む)とは、生物が巣を定めたところで巣を作って生活を営む、の意。そのところに永くとどまる。(広辞苑)

とありますが、今の日本の住まいは30年程度で建て替えることが目安といえますか、一般的常識になっているようです。これは、一代で2回建て替える勘定になります。古い建造物や昔の民家は100年位は当たり前。永いになると、数百年というものも珍しくありません。一体この差は何なのでしょう？まして、建てたばかりの家に入れない、住めないなんて！！

現代の殆どの人は「温故知新」ということを忘れ、自然と人間の暮らしの関わり方を無視し、利便性や見た目の快適性の追求で、とても大切なことが解らなくなってきたように思えます。

それは、家を建てるための土地、地形、方位、方角、間取り、通気性、材料選定、業者選定、建てる時期などの条件がその家の場や環境レベルの高低に影響するということにもなります。

更に大切なことは、住まいに対する物語(思いの内容や深さ)ではなからうか？と振り返って思うところです。

